

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名 グループホーム 鶴見の太陽

作成日: 令和 2 年 3 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	・重度化した場合や終末期のあり方について、従来、本人・家族と十分な話し合いの場を持てるように努めてきた。しかし遠方の家族の場合、連絡方法も限られており、十分な話し合いができていだろうかと不安が絶えずある。	家族(特に遠方)との連絡を密に、重度化や終末期に向けた方針の共有化を行い、迅速かつ適切な支援を行うことができる。	日頃より、連絡を密に信頼関係を築いていく。 ①遠方の家族については連絡方法・時間の見直しを行う。(電話・メール・FAX・手紙等) ②1か月に1回程度近況報告、信頼の再構築を図り、ビビッドな方針共有を行っていく。	12ヶ月
2	35	火災や地震等災害時の避難訓練は施設内で年3回、地域住民と合同で年1回実施し協力体制を築いてきた。災害時に敏速に対応できるように、利用者の方が日常生活の中で訓練ができるような環境を提供したい。	周囲の人たちとゲームや歌を楽しみながら、避難時の集合の方法や場所を自然に身につけていくことができる。	① ゲーム感覚で集合場所等に日常的に慣れ親しんでもらう。 ② 集合場所に集い、ゲームや紙芝居を楽しみながら印象づけていく。 ③ 実際の避難の際、スムーズな行動ができるよう職員も一丸となって習慣化する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。